# 古文入門

## 教材のねらい

### 1 選定の理由

「宇治拾遺物語」の中から「児のそら寝」「絵仏師良秀」の二教材、「十訓抄」の中から「大江山」一教材を学ぶ。どれも話の展開の仕方に魅力があり、生徒に抵抗を感じさせずに古文学習に入っていくことができる。また、重要古語も含まれており、古文読解の基本を身につけさせることができる。

「単元の言語活動１　声に出して古文を読む」は、古典学習の導入として、歴史的仮名遣いの読み方を学び、正確に読めるようになることをねらいとしている。

### 2 指導のねらい

古文を音読できるように、歴史的仮名遣いや文の切れ目を理解させ、繰り返し練習させる。また、誰が何をしたか、誰がどのように思ったか、内容を正確につかませる。古語と現代語の違いや、古文の特徴など、「古文を読むために」をもとに、古文学習の基礎を押さえさせる。

### 3 単元の目標

目標について、別表「単元の目標一覧」をご確認ください。

## 4 評価規準

| 学習指導要領との対応等 | 評価規準例 | 〔知識・技能〕 | | | | | | | | ・表現力等〕 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | (1)ア | (1)ウ | | (1)エ | (1)オ | (2)イ | (2)ウ | (2)エ | B(1)ア | B(1)イ |
| | | 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 | 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 | 掛詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 | 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 | 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 | 時間の経過による文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 | 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 | 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 |
| 児のそら寝 | | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 古文を読むために１ | | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 絵仏師良秀 | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 古文を読むために２ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 大江山 | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 古文を読むために３ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 単元の言語活動１ | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |

| 〔思考力・判断力 | | | 〔主体的に学習に取り組む態度〕 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| B(1)ウ | B(1)エ | B(1)オ | | | | |
| 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 | 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 | 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 | 進んで説話のおもしろさを味わい、歴史的仮名遣いの読み方や古語と現代語の違いを理解し、学習課題に沿って、内容や展開などについて叙述を基に的確に捉え、僧たちが児を笑った理由を話し合おうとしている。 | 進んで説話のおもしろさを味わい、歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりについて理解し、古文に親しみ、学習課題に沿って、叙述を基に、絵を描くことについての絵仏師良秀の考え方について話し合おうとしている。 | 進んで説話のおもしろさを味わい、歴史的仮名遣いの読み方や、活用語の活用形や種類、係り結びなど文語のきまりを理解し、学習課題に沿って、掛詞の表現技法とその効果について理解しようとしている。 | 進んで説話のおもしろさを味わい、文語のきまりを理解し、古文に親しみ、歴史的仮名遣いの読み方を理解し、今までの学習を生かして、古文を音読しようとしている。 |
| ○ | | | ○ | | | |
| | | | ○ | | | |
| | | | | ○ | | |
| | | | | ○ | | |
| | ○ | ○ | | | ○ | |
| | | | | | ○ | |
| ○ | | | | | | ○ |

**■言語活動例との関連**（【　】は関連する指導要領の言語活動例）

単元の言語活動１　声に出して古文を読む【〔思・判・表〕B(2)ア】